



◆巻頭言

この度は部会からのお見舞い、皆様からの温かい励ましのお言葉を頂き有難う御座います。こじゅけい通信をお借りし御礼申し上げます。私の不注意から『左足大腿部打撲膝靭帯損傷』との診断でした。

通院した整形外科待合室には老若男女が診療待ちしており、話を聞くと、高齢者の多くは敷居、座布団、ジユウタン等の1~3cmの高さにつまずきよろけて転倒し、足、腕の骨折捻挫した方が多く、若者はスポーツでの怪我が多かった。

高齢者の多くは『私がどうして？なんで？こんな事になったのか』との話でした。医者からは『高齢になると筋力の衰えから足があがらなくなる』と聞き、自分はそれ程年齢を感じてないのと言うような不納得の顔が多かった。

気持ちは若いと思っても体は老いている事を再確認し、体調を整え、無理のない作業を皆さまと一緒に出来る日を楽しみにリハビリに頑張っていきます。

部会からのお見舞金は西日本豪雨救援募金として広島県に寄付させて頂きました。

高嶋 光夫

◇平成 30 年9月・10月の活動予定

- 1) 9月 9日 (日) 9時半~14時半 [定例作業] ・集合場所 池の下広場
◇作業目的：管理型スギ林への保全作業 (オオタカの舞えるスギ林へ)
・作業場所：尾根道大丸エリア (区域 A) の尾根道側
・作業内容 ①林床整理 (ネザサ・アオキ・シロダモ・枯木等の除伐)
②北谷戸苗畑の草取り
③道場丸エリアのモニタリング
・持ち物 常備具 (竹引きノコ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品
【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ、ポール、カケヤ
チイルホール、刈払機
- 2) 9月 23日 (日) 9時半~14時半 [定例作業] ・集合場所 池の下広場
◇作業目的：管理型スギ林への保全作業 (オオタカの舞えるスギ林へ)
・作業場所：尾根道大丸エリア (区域 A) の尾根道側
・作業内容 ①林床整理 (ネザサ・アオキ・シロダモ・枯木等の除伐)
②尾根道大丸エリアのモニタリング
・持ち物 常備具 (竹引きノコ・手ノコ・ナタ)、お弁当、飲料水、他必需品
【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ、ポール、カケヤ
チイルホール、刈払機

3) 10月14日(日)9時半～14時半〔定例作業〕 ・集合場所 池の下広場

◇作業目的：管理型スギ林への保全作業（オオタカの舞えるスギ林へ）

- ・作業場所：尾根道大丸エリア（区域A）の道場丸広場沿い
- ・作業内容 ①林床整理（ネザサ・アオキ・シロダモ・枯木等の除伐）
- ・持ち物 常備具（竹引きノコ・手ノコ・ナタ）、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ、ポール、カケヤ
チイルホール

4) 10月28日(日)9時半～14時半〔定例作業〕 ・集合場所 池の下広場

◇作業目的：管理型スギ林への保全作業（オオタカの舞えるスギ林へ）

- ・作業場所：尾根道大丸エリア（区域A）のベンチ設置付近
- ・作業内容 ①林床整理（ネザサ・アオキ・シロダモ・枯木等の除伐）

②11月11日ボラ塾生の受入れ準備

- ・持ち物 常備具（竹引きノコ・手ノコ・ナタ）、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、チェーンソー、ロープ、ポール、カケヤ
チイルホール、刈払機

（平成30年11月・12月号の原稿に関し、上記活動報告は山田忠浩氏、巻頭言は山上東平氏、リレー
トークは星野純明氏です。原稿の締め切りは30年10月29日(月)枝村氏迄宜しく願います）作業を
欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【樹林地部会 活動日誌】

報告者 三島清和

(1) 平成30年7月8日(日)晴 9:30～13:15 作業場所：道場丸

参加者：山上、渡部、渡邊、佐谷、伊藤、小宅、三島、浅見、石渡、戸賀澤、枝村、岡、武内、
吉田、中塚(事務局) 計15名 ボラ塾生7名 総計22名

作業内容：ボラ塾生と女性陣は道場丸の笹原の徐笹を行う。

男性陣はチェーンソー利用しながら道場丸への登り散策路沿いの密林を除伐整理した。

*ボラ塾生は11:30に終了下山した。

*7/4の保全協議会(於南部公園事務所)の報告。新所長挨拶など。川の枝払いを12/1(土)
予定。瀬上池浚渫を再度予定。



ボラ塾生等による笹刈



道場丸下密林？



明るくなって浸入止め柵も設置

(2)平成30年7月22日(日)晴 9:30～13:00 作業場所：いっしんどう広場下

参加者：三島、渡部、佐谷、酒巻、山田、小宅、長谷川、伊藤、高、武内、岡、山上、戸賀澤、

浅見 計14名

作業内容: 5/27作業で倒した木の始末に4名がチェーンソー持参で処理に当たる。残り全員で港南台側(広場下)の下草刈をした。栄区側での処理を終えたメンバーも合流。暑いので早々に終え、昼食、5月の事故の検証をした。(空中での切断が原因?)



玉切りし易い様に木を縦に!



港南台側の下草刈



玉切りした後

(3)平成30年7月29日(日)雨のち晴れ 台風12号三重県の方へ

作業場所 : 光が丘自治会館植栽剪定作業 8:00~11:20

参加者 : 山上、伊藤、三島、丸山、渡邊、渡部 計6名

作業内容: 人数が少なかったので早めに作業開始、効率良く剪定など。一年とは言え結構茂っていた。休憩を挟み、私道のマテバシイ剪定を含め 11:20には終了、会館内で涼みながら改めて5/27起きた事の検証した。 11:40 散会。



作業前の会館、ツツジが道路まで



私道のマテバシイ剪定前



剪定後

(4)平成30年8月18日(土)晴 ①救命講習、②小菅ヶ谷北公園視察、③納涼会於大船

①浅見、石渡、枝村、岡、小宅、高妻、酒巻、佐谷、高嶋、戸賀澤、野沢、丸山、三島、山上、山田、吉川、渡邊とボラ塾生4名 計21名

*『習うより慣れろ』を強く感じた講習会だった。傷病者に意識がなく、普段どうりの呼吸がない時は、一刻でも早く胸骨圧迫を行なうのが最善な結果につながる事が良く理解出来た。

②石渡、伊藤、枝村、岡、小宅、高妻、酒巻、佐谷、戸賀澤、中塚、長谷川、丸山、三島、山上、吉川、渡邊 計16名

* 指定管理者、生駒、奈良の各造園会社によるジョイント管理との事。生態系を含め循環型整備を目指し、指定管理者として市民を対象とした『きのこ作り、田植えなど』自発的に企画計画が出来るのをメリットと言う。

③浅見、石渡、伊藤、枝村、岡、小宅、高妻、酒巻、佐谷、高嶋、竹内、戸賀澤、中塚、星野、三島、山上、吉川、吉武、吉田、渡邊 計 20 名

* 高嶋氏も元気な顔をみせてくれた。我会の生みの親、吉武顧問が記念すべき 15 周年に参加して下さる。



①於 栄消防署



②小菅ヶ谷北公園事務所で



③ 海福(大船)吉武氏の顔も

◆ リレートーク

感じたままに

長谷川 光子

台風 13 号のおかげで逃げ場の無いような暑さも、しばしのお休み。
何だか ドット疲れが出た感じ、気が緩んだかな。猛暑、酷暑 大暑 炎暑 甚暑
当てはまるのはどれになるのでしょうか。耐え難い暑さが続いた。大きな自然災害があちら
こちらで暴れ、被災された皆様のご苦労が思いやられます。

お見舞い申し上げます。

自然の猛威に勝つ術は無いのでしょうか。地球上の方々に大きな自然災害が
発生しているのに。この夏だけでなく四季を通して変化していくかと思うと恐ろしい。
経験した事の無い連日の暑さに、連日耳に蝉が出来るほど言われている熱中症
予防の呼びかけに従い、注意だけはしたいと思う今日この頃です。(8/9記)

◆ 編集後記

全国ホテル大会にご一緒する佐々木先生と日
高山脈のアポイ岳に登った。前日近くのビジ
ターセンターで特殊な地層、マグマが直接地
表に出て生成された『かんらん岩』を知り、
アポイ岳がかなり貴重な場所と分かる。標高
が低い【810.2m】にも拘らず高山植物の宝庫。
丁度山で出会った監視員に花の盗掘やエゾ鹿
の食害、ハイマツなどの繁茂で急速に環境悪
化していると聞いた。多くのボランティアの
方々がその再生に頑張っているとの事。登山道を狭めたり、木道を敷いたり、金網で籠
を作り小石を入れて(踏み段)、気の遠く成る様な頂上迄の長さに頭が下がった。伊藤



アポイ岳の登山道、キンロバイも咲く